

# 去勢手術の一番の目的は病気の予防です

- 5歳以上の未去勢オスの **60%以上**が **前立腺過形成**になります。
- **会陰ヘルニア**を発症するオス犬の **8-9割**が未去勢の中～高齢犬です。
- 去勢することにより、**精巣腫瘍**の発生を予防ができます！  
一方、**一部の腫瘍**（骨肉腫や血管肉腫、リンパ腫）の発生リスクが増加する可能性があります…
- 去勢手術を行う事でリスクの増加する疾患、減少する疾患がありますが、



総じて**寿命が1-2割程度長くなる**との報告があります



また、去勢手術は、ワンちゃん、ネコちゃん、飼い主様、そして地域のために重要です。

- ✓ 下記の**問題行動を減少**させることができます。

犬

- 尿マーキング（60%）
- 放浪行動（90%）
- マウンティング（80%）
- 一部の攻撃行動（75%）

猫

- 尿マーキング（90%）

\* ()内は予防できる確率

- ✓ 望まれない妊娠・出産による**捨て犬、捨て猫を防ぐ**ためには去勢手術を行う事が重要です。



ただ、去勢したワンちゃん、ネコちゃんは、**太りやすくなります**。

必要エネルギーが  
**15%-25%減少**



そのため

ごはんを **10-20%減量** or  
専用 food へ変更が必要



## 去勢の時期

会陰ヘルニア、前立腺肥大に関しては、去勢の時期が遅すぎなければ問題ありません。しかし問題行動の学習による習慣化を防ぐためには、発情が発現する以前の **3-6 か月齢**が望ましいでしょう。

生後3ヶ月以内の早期に去勢手術を行っても、成長や尿路閉塞の発生には差がないと報告されています。